

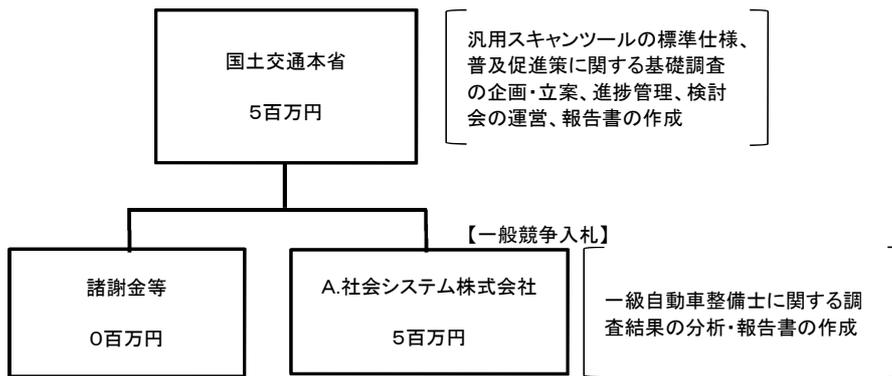
平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	新技術に対応した整備技術の高度化促進方策事業		<b>担当部局庁</b>	自動車局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成22年度～		<b>担当課室</b>	整備課		課長 江坂 行弘		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	5 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保 14 公共交通の安全確保・鉄道の安全性向上、 ハイジャック・航空機テロ防止を推進する。				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	新技術に対応した整備技術の高度化を促進し、自動車の安全確保及び環境保全を図る。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車の新技術の利用の拡大に伴い、故障を診断し必要な整備を効率的に行える汎用型のスキャンツールの普及に向けた標準仕様や普及促進策及び整備要員の技術向上方策等の検討。</li> <li>・学識経験者、自動車関係団体等による検討会。</li> <li>・報告書の作成</li> </ul>							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	1	4	7	4		
		補正予算						
		繰越し等						
		計	1	4	7	4		
		執行額	0	2	5			
	執行率(%)	23.9%	52.1%	72.8%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果目標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	①事業用自動車第1当事者の交通事故における死者数 ②事業用自動車第1当事者の交通事故における人身事故件数 ③事業用自動車による飲酒運転に係る道路交通法違反取締件数 ※初期値:①513人(20年)、②56,295人(20年)、③287人(20年)	成果実績			①490 ②51,061 ③177	①447 ②49,080 ③151	①466 ②45,346 ③121	①380 ②43,000 ③0
		達成度	%		①17 ②39 ③38	①50 ②54 ③47	①35 ②82 ③58	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	検討会開催実績		活動実績 (当初見込み)		3 (3)	3 (4)	4 (4)	— (1)
<b>単位当たりコスト</b>	( 0.032百万円/回 )		算出根拠	検討会開催1回実施あたりの必要コスト (平成24年度検討関係執行額:0.127百万円、実施回数:4回)				
平成25・26年度予算内訳	<b>費目</b>	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0						
	職員旅費	0						
	委員等旅費	0						
	公共交通等安全対策調査費	3						
	計	4						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国民の安全・安心を確保する観点から、自動車に採用されている新技術の利用拡大に対応した整備技術の高度化を図るものであり、国が実施すべき事業。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先や用途について、常に把握し、必要なものに限定している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	自動車に採用されている新技術の利用拡大に対応した整備技術の高度化を図るため、着実に検討を行っている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	本事業において行われた検討会の成果として、スキャンツールの標準仕様を策定し、これに基づいて機器メーカーによるスキャンツールの開発が進められるとともに、点検整備に必要な情報を整備事業者等に提供するためのガイドラインを策定し、このガイドラインに基づいて情報の提供が行われる等、着実な成果が認められる。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	0286	平成24年	0294

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.社会システム株式会社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負費	一級自動車整備士に関する調査結果の 分析・報告書の作成	5			
計		5	計		
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社会システム株式会社	一級自動車整備士に関する調査結果の分析・報告書の作成	5	1	97.5
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					